

<テーマ一覧>

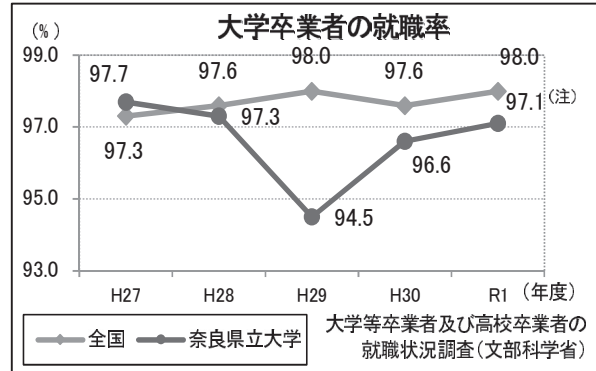
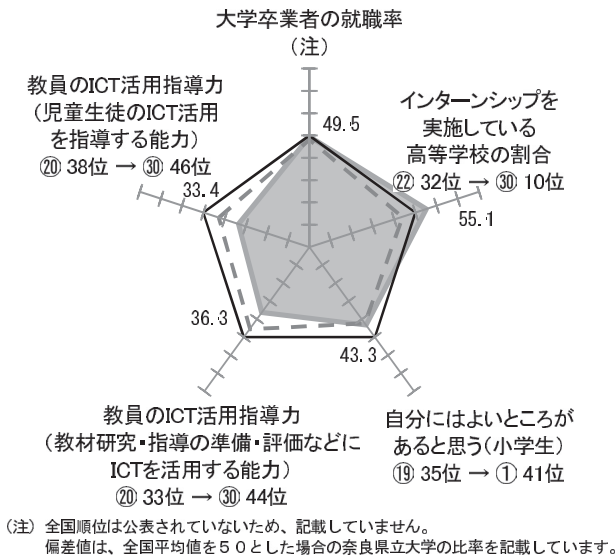
坊	番号	テーマ名	ページ
現状分析			P.117
19. 教育の 振興	(103)	県立大学の教育の充実	P.118
	(104)	県立大学附属高校の設立	
	(105)	県立医大教育の充実 県立医大教育将来像の深化	P.119
	(106)	県と大学との連携、県立大学・県立医大と他大学との連携強化	P.120
	(107)	県立高校教育の充実	P.125
	(108)	実学教育の充実、インターンシップの推進	P.121
	(109)	就学前教育の充実	P.122
	(110)	私学の振興	P.123
	(111)	教育ICTの推進	P.124
現状分析			P.128
20. 文化財 の 保存・ 活用 の 振興	(112)	文化財の保存と活用	P.129
	(113)	文化財防災対策の構築	P.130
	(114)	文化振興条例の制定	
	(115)	文化クラスター事業・日本博事業への参加	P.131
	(116)	記紀万葉プロジェクトのこれから	P.132
	(117)	なら歴史芸術文化村の活用策の検討	P.133
	(118)	研究勉強活動の充実強化	P.137
21. 交流 の 開	(119)	東アジア地方政府会合の充実発展	P.134
	(120)	既交流団体との交流強化、新たな交流団体との提携	P.135
	(121)	奈良の仏像、文化財の海外展示のこれから	P.136

19. 教育の振興

【担当部局】

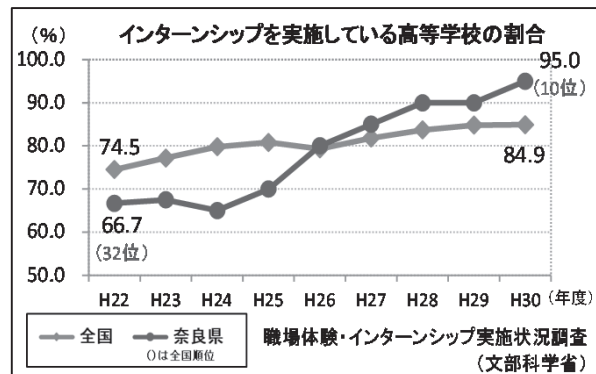
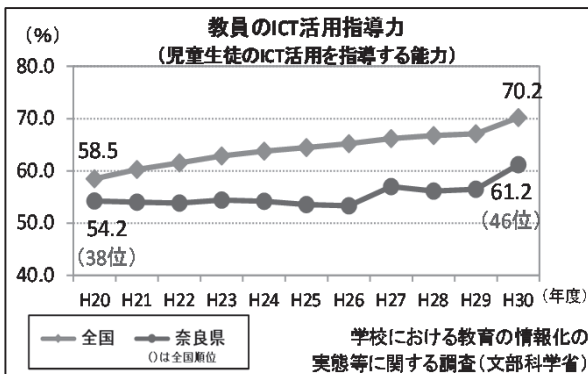
文化・教育・くらし創造部、こども・女性局、医療政策局、教育委員会

1. 現状分析



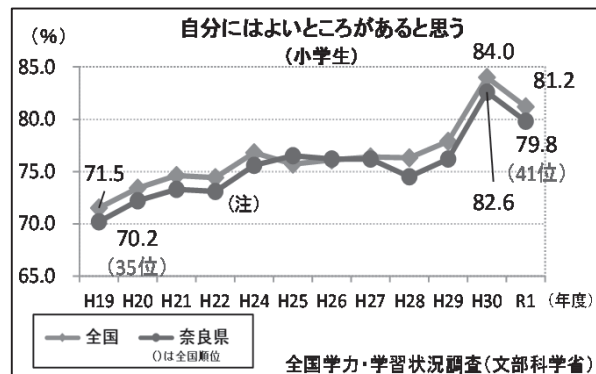
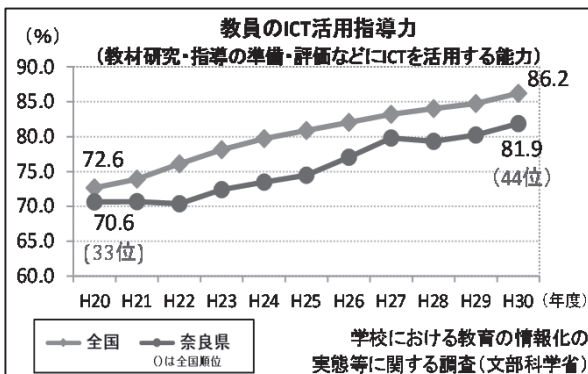
(注) 全国順位は公表されていないため、記載していません。

令和元年度の大学卒業者の就職率は97.1%と、平成27年度より0.6ポイント下降していますが、平成30年度より0.5ポイント上昇しました。



平成20年度から着実に向上しているものの、全国と比較すると依然として低位の状態が続いています。

インターンシップを実施している高等学校の割合は、全国平均を下回る時期もありましたが、平成26年度以降、80%を超え、全国平均を上回っています。



(注) 平成23年度は調査未実施

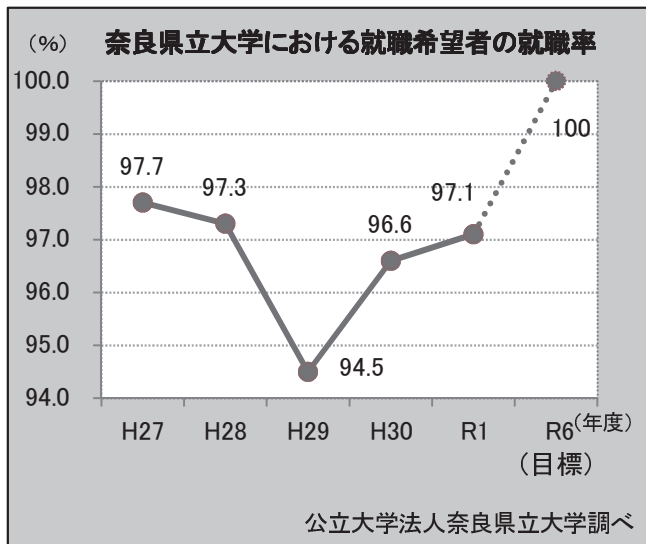
平成20年度から着実に向上しているものの、全国と比較すると依然として低位の状態が続いています。

「自分にはよいところがあると思う」と回答する小学生の割合は79.8%と前年度より2.8%低下し、全国平均を僅かに下回っています。

2. 各テーマの「目指す姿」達成に向けた進捗状況

坊	19. 教育の振興
テーマ	(103) 県立大学の教育の充実 (104) 県立大学附属高校の設立
目指す姿	令和6年度までに奈良県立大学における就職希望者の就職率を100%にします。

CC(チーフコーディネーター)
(103) 文化・教育・くらし創造部 教育振興課長 山口 真和 (104) 県立大学 常務理事 辻本 浩司



奈良県立大学における就職希望者の就職率(%)					
指標	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	97.7		97.1	▲26.1%	100
	H27 (2015)	0.6 ポイント	R1 (2019)	$\frac{4}{9}$ 年目	R6 (2024)
進捗状況	キャリア教育の充実や、就活生に対する細やかなサポートに取り組んだ結果、令和元年度の大学卒業者の就職率は97.1%と、基準値より0.6ポイント下降しましたが、平成30年度より0.5ポイント上昇しました。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
キャリアデザイン科目の履修者数(人)	大学1年生を主な対象とした科目を令和元年度は2講座開講したところ、実績値は基準値から16人増え、進捗率は47.1%で、順調に進捗しています。	176	↗	192	47.1%	210
		H30 (2018)	16 人	R1 (2019)	$\frac{1}{2}$ 年目	R2 (2020)
リベラルアーツ科目数 ^(注) (科目)	他大学との連携授業等を含む多種多様なリベラルアーツ科目を新たに開講した結果、実績値は36講座となり、目標値を達成しました。	19	↗	36	566.7%	22
		H26 (2014)	17 科目	R1 (2019)	$\frac{5}{6}$ 年目	R2 (2020)

(注) リベラルアーツ・・・物事を総合的に思考するために必要な人文科学・社会科学・自然科学の基礎知識

主な取組指標の動き

教育内容の充実		
海外フィールドワークの参加学生数(人)		
12	↗	30
H27 (2015)	2.5 倍	R1 (2019)

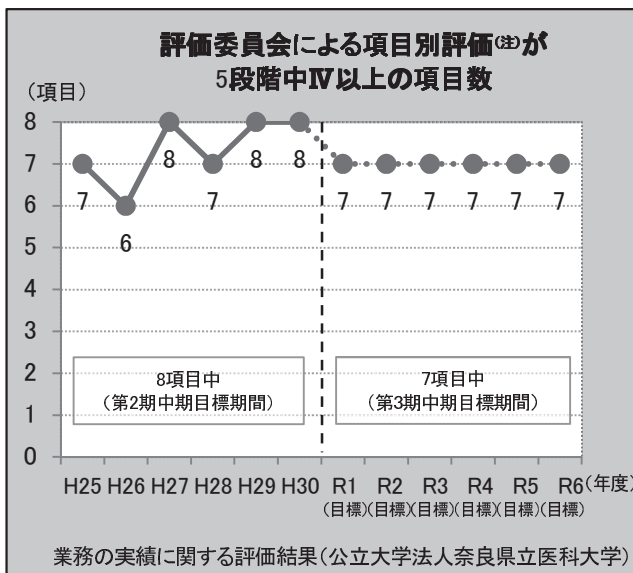
学び直しの機会の提供		
シニアレッジ受講者数(人)		
492	↗	1,334
H26 (2014)	2.7 倍	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

奈良県立大学附属高等学校の設立に向け、学校の基本理念の設定や奈良教育大学とそれぞれの教育研究活動の充実・発展に資するための連携協定の締結等、開校準備を進めました。

坊	19. 教育の振興
テーマ	(105) 県立医大教育の充実、県立医大教育将来像の深化
目指す姿	令和6年度まで各年度の評価委員会による項目別評価について、全項目5段階中IV以上を維持します。

CC(チーフコーディネーター)
(105) 医療政策局次長 阪本 吉偉



指標	評価委員会による項目別評価が5段階中IV以上の項目数(項目)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	7/8	↗	8/8	↗	7/7維持
進捗状況	H25(2013)	1項目	H30(2018)		R1~R6の6年間
<p>地域企業等への研究成果の還元等の取組が評価され、平成30年度の業務実績に関する評価委員会による項目別評価(注)は、全ての項目で「IV:中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」となりました。</p> <p>また、第3期中期目標期間初年度である令和元年度には、中期目標の実現に向けた県立医大の取組を進めるため、県と県立医大で定期的に会議を開催し、進捗状況の共有や課題の検討・協議を行いました。</p>					

(注)評価委員会による項目別評価・・・地域貢献(教育)(研究)(診療)、教育、研究、診療法人運営の7項目を5段階評価(第2期(H25~H30)は、8項目)

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
県費奨学金制度により、医師が不足するへき地や診療科、診療分野に従事する医師数[累計](人)	県費奨学生に対し、医師としてのキャリアパス形成を支援するなど離脱防止を図ることで、実績値は42人となり、県が提示した中期目標に向けて順調に進捗しました。	29	↗	42	17.1%	105
		H30(2018)	13人	R1(2019)	$\frac{1}{6}$ 年目	R6(2024)
県立医大による専門看護師養成数[累計](人)	県補助金を活用し、看護師の質向上に取り組んだ結果、実績値は1人となり、県が提示した中期目標達成に向けて順調に進捗しました。	0	↗	1	33.3%	3
		H30(2018)	1人	R1(2019)	$\frac{1}{6}$ 年目	R6(2024)

主な取組指標の動き

第3期中期目標達成に向けた取組・運営に対する支援		
県立医大県民健康増進センターによる県・市町村及び民間医療機関等への支援の件数[累計](件)		
20	↗	45
H26(2014)	25件	R1(2019)

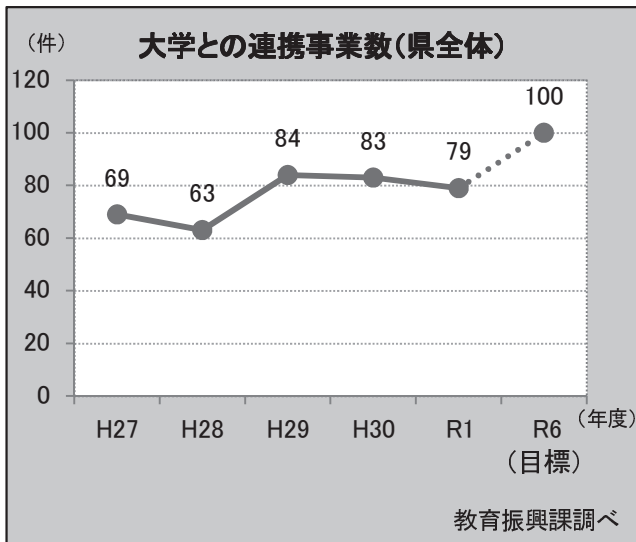
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

県補助金を活用し、平成28年度に本格導入した奈良への愛着、県内の地域医療に対する意識を育むための授業科目「奈良学」を継続して実施しました。

県補助金を活用し、新たに「医師・患者関係学講座」を設置し、高度医療・急性期医療・慢性疾患における医師・患者関係を理解するための教育を実施しました。

坊	19. 教育の振興
テーマ	(106) 県と大学との連携、県立大学・県立医大と他大学との連携強化
目指す姿	令和6年度までに大学との連携事業数(県全体)を100件にします。

CC(チーフコーディネーター)
(106) 文化・教育・くらし創造部 教育振興課長 山口 真和



指標	大学との連携事業数(県全体)(件)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	69	↗	79	32.3%	100
進捗状況	H27 (2015)	10 件	R1 (2019)	$\frac{4}{9}$ 年目	R6 (2024)
	目標達成に向け、早稲田大学・近畿大学をはじめとする大学との連携協定締結や連携に基づく事業の推進を図り、令和元年度の大学との連携事業数(県全体)は平成30年度からは4件減少し79件となりましたが平成27年度からは10件増加しており、今後も目標達成に向け取り組んでいきます。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
県立大学と他大学との連携協定数(件)	他大学との連携の充実により、実績値は基準値から11大学増加して29大学となり、目標を達成しています。	18	↗	29	183.3%	24
		H26 (2014)	11 件	R1 (2019)	$\frac{5}{6}$ 年目	R2 (2020)
県立医大と民間企業や他大学他学部との共同研究件数(中期目標期間累計)(件)	奈良県先端科学技術大学との連携活性化に向けた活動等により、令和元年度の実績値は54件となり、県が提示した中期目標達成に向けて順調に進捗しています。	191	↘	54	27.0%	200
		H25~H30 6年間累計		R1 (2019)	$\frac{1}{6}$ 年目	R1~R6 6年間累計

主な取組指標の動き

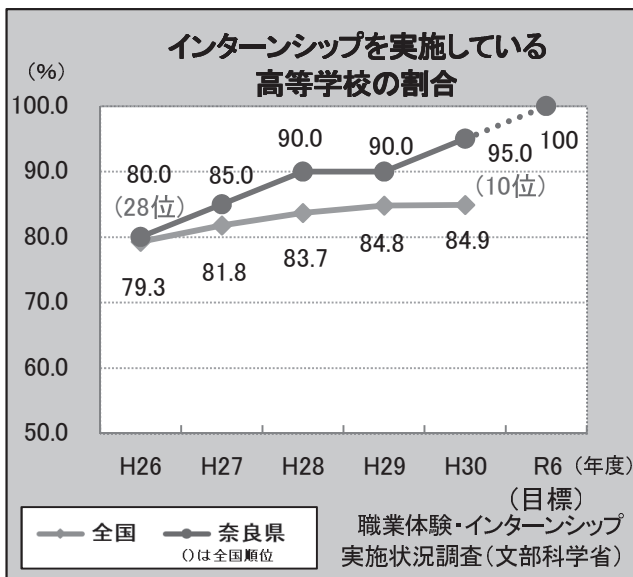
大学との連携推進				
教育分野の連携事業数(件)				
8	↗	11		
H27 (2015)	37.5 %	R1 (2019)		

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

大学の高度な知的資源を活用し、県政の様々な課題への対応策を検討・実施するため、他大学等との連携のさらなる進展を図ってきました。

坊	19. 教育の振興
テーマ	(108) 実学教育の充実、インターンシップの推進
目指す姿	令和6年度までにインターンシップを実施している高等学校の割合を100%にします。

CC(チーフコーディネーター)
(108) 教育委員会 学校教育課長 山内 祐司



指標	インターンシップを実施している高等学校の割合(%)				
	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	80.0	↗	95.0	75.0%	100
進捗状況	H26 (2014)	15.0 ポイント	H30 (2018)	$\frac{4}{10}$ 年目	R6 (2024)
	目標達成に向けて、県内企業や連携企業等におけるインターンシップの実施等、県立高等学校において実学教育の一環としてインターンシップを実施してきました。平成30年度のインターンシップを実施している高等学校の割合は平成26年度から15ポイント増加し、95.0%となり、全国順位は10位となりました。また、進捗率は75.0%で、目標達成に向けて順調に進捗しています。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
県立高校の専門学科(全日制)における在学中に1回でもインターンシップ等を体験した3年生の3年生全体に占める割合(%)	奈良県版デュアルシステム ^(注) を促進することにより、実績値は基準値から1.7ポイント増加し、50.5%になりました。進捗率は27.4%で目標達成に向けて順調に進捗しています。	48.8	↗	50.5	27.4%	55
		H30 (2018)	1.7 ポイント	R1 (2019)	$\frac{1}{6}$ 年目	R6 (2024)

(注)奈良県版デュアルシステム…連携企業等と協働し、学校での学習と企業での実習を組み合わせる教育システム

主な取組指標の動き

キャリアサポートセンターによる就業支援		
インターンシップ申込人数(人)		
212	↗	268
H30 (2018)	26.4 %	R1 (2019)

県内企業との接点強化		
高校生等就職支援会議参加企業数(社)		
79	↗	84
H30 (2018)	6.3 %	R1 (2019)

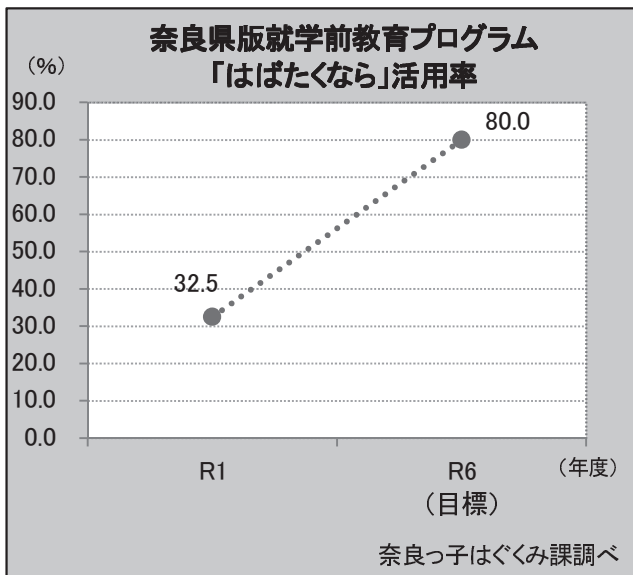
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

県立教育研究所に設置されたキャリアサポートセンターにおいて、キャリアプランナー及びインターンシップコーディネーターが、インターンシップ先の開拓等を行い、その情報を各高校に提供し、インターンシップ実施率の向上を図りました。

高校生等就職支援会議において、参加された企業にインターンシップの推進を呼びかけており、令和元年度からは、県内企業見学を実施し、県内企業との接点強化を図りました。

坊	19. 教育の振興
テーマ	(109) 就学前教育の充実
目指す姿	令和6年度までに、奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」活用率を80%にすることで、自尊心の向上を図ります。

CC(チーフコーディネーター)
(109) こども・女性局 奈良っ子はぐくみ課長 栗田 晃治



奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」活用率(%)		
指標	基準値	目標値
	32.5	80
	R1 (2019)	R6 (2024)
進捗状況	奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の活用促進に向けて、奈良県立教育研究所が開催する各種の研修等においてプログラムの紹介を行ったほか、「はばたくなら」の実践・普及のため、令和元年度実践事例集を作成しました。今後も目標達成に向けて取り組んでいきます。	

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」実践事例集の作成数(例)	令和元年度、2所9園からの取組事例を基に、活用しやすい事例を11例編集し、実践事例集に掲載しました。	0	↗	11	22.0%	50
		H30 (2018)	11例	R1 (2019)	$\frac{1}{6}$ 年目	R6 (2024)

主な取組指標の動き

公立幼稚園、認定こども園、保育所における奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の活用		
「はばたくなら」の活用促進に向けた「はぐくみ講座」受講者数[累計](人)		
0	↗	1,240
H30 (2018)	1,240人	R1 (2019)

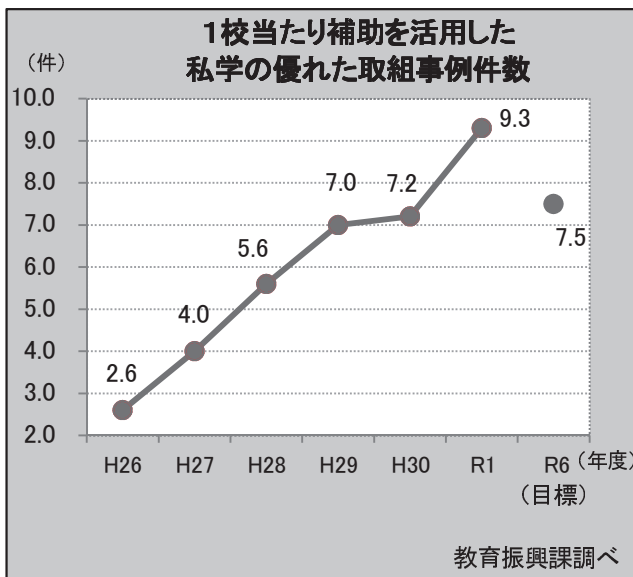
「豊かな感性と表現」の育成		
音感受への意識を育む講演等実施回数[累計](回)		
0	↗	2
H30 (2018)	2回	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

令和元年度に新たに、学識経験者や関係団体の代表等で構成される奈良県就学前教育関係者協議会を設置しました。令和元年度は協議会を2回開催し、施設類型を超えた就学前教育の質の向上に向けて協議を行い、研修履歴を可視化する「キャリアアップシート」を作成しました。

坊	19. 教育の振興
テーマ	(110) 私学の振興
目指す姿	令和6年度までに補助を活用した私学の優れた取組事例の件数を1校当たり7.5件にします。

CC(チーフコーディネーター)
(110) 文化・教育・くらし創造部 教育振興課長 山口 真和



指標	1校当たり補助を活用した私学の優れた取組事例件数(件)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	2.6	↗	9.3	136.7%	7.5
進捗状況	H26 (2014)	6.7 件	R1 (2019)	$\frac{5}{10}$ 年目	R6 (2024)
	いじめ防止対策等、私学の優れた取組について、積極的な取組を促した結果、1校当たりの取組件数は、毎年増加しており、実績値は基準値から6.7件増加して9.3件となり、目標を5年早く達成しました。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
政策推進助成 ^(注) 件数(件)	事前相談による取組促進の結果、実績値は基準値から445件増加して645件となり、目標値を達成しました。	200	↗	645	135.7%	528
		H26 (2014)	445 件	R1 (2019)	$\frac{5}{10}$ 年目	R6 (2024)

(注)政策推進助成…県の教育課題に対して積極的に取り組む学校について支援

主な取組指標の動き

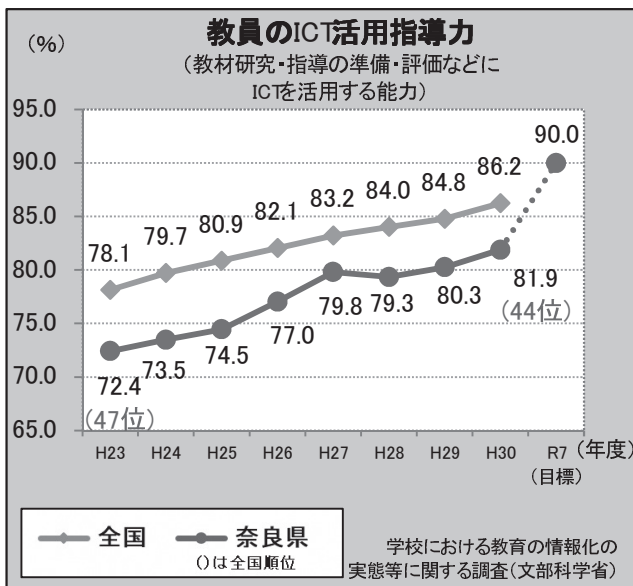
私立学校の優れた取組への支援		
いじめ防止対策等の取組(件)		
45	↗	53
H26 (2014)	17.8 %	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

私学の優れた取組について、事前に相談を受け付け、積極的な取組を促すことや、他の優良な事例を紹介すること等により、取組件数の増加を目指します。

坊	19. 教育の振興
テーマ	(111) 教育ICTの推進
目指す姿	令和7年度までに教員のICT活用指導力(教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力)を90.0%にします。

CC(チーフコーディネーター)
(111) 教育委員会 教育研究所長 大石 健一



指標	教員のICT活用指導力(教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力)(%)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	72.4	↗	81.9	54.0%	90.0
進捗状況	H23 (2011)	9.5ポイント	H30 (2018)	7/14 年目	R7 (2025)
	各学校でのICT活用の活性化を目指し、STEAM教育エバンジェリスト(注)育成の拡大を図っており、その数は3年間で5倍となっています。また、各市町村教育委員会と連携しながらクラウドを活用した在宅教育の充実に向けて取り組んでいます。その結果、実績値は基準値より9.5ポイント増加して、進捗率は54.0%となり、順調に進捗しています。				

(注)STEAM教育エバンジェリスト…各教科での学習を実社会での問題解決に生かしていくための教科横断的なSTEAM教育を中心に、より質の高い教育活動を実践し、県内に広めることを目的とした研修リーダー

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
教員のICT活用指導力(児童生徒のICT活用を指導する能力)(%)	オンライン研修等も活用し、向上を図っていますが、進捗率は26.6%で、伸び悩んでいます。	54.4	↗	61.2	26.6%	80
		H23 (2011)	6.8ポイント	H30 (2018)	7/14 年目	R7 (2025)

主な取組指標の動き

教育情報化を推進するリーダーの育成		
STEAM教育エバンジェリスト育成研修の受講人数(人)		
33	↗	156
H29 (2017)	4.7倍	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

令和2年度からのプログラミング教育必修化に向けて、プログラミング体験や年間計画作成等、学校のニーズに応じた実践的な研修を充実させました。

教育情報セキュリティ向上や業務改善を目指し、市町村教育委員会と連携しながら、県全域での統合型校務支援システムの導入を促進し、教員の働き方改革を推し進めました。令和元年度末時点で139校(40.2%)が導入済みです。

坊	19. 教育の振興	
テーマ	(107) 県立高校教育の充実	
CC(チーフコーディネーター)	(107)教育政策推進課長 熊谷 啓子	
目指す姿	令和5年度までに高等学校再編を完了し、魅力と活力ある学校づくりを推進します。	「県立高等学校適正化実施計画」に沿って、適正化の対象となる各学校において教育内容検討チーム会議等を実施し、開校に向けてカリキュラムの検討を行っています。令和2年度に国際高校、令和3年度に奈良南高校、令和4年度に宇陀高校、令和5年度に国際中学校がそれぞれ開校します。

3. 次年度に向けた課題の明確化

19. 教育の振興

- (103)県立大学の教育の充実
- (104)県立大学附属高校の設立
- (105)県立医大教育の充実
- 県立医大教育将来像の深化
- (106)県と大学との連携、県立大学・県立医大と他大学との連携強化
- (107)県立高校教育の充実
- (108)実学教育の充実、インターシップの推進
- (109)就学前教育の充実
- (110)私学の振興
- (111)教育ICTの推進

＜奈良県の持っている強み＞

- 1 「奈良モデル」やエビデンスベースの行政を推進
- 2 学校・保護者・地域が協働した、地域の教育力を高めるための仕組みづくりが順調
- 3 歴史文化資源が豊富であり、国宝・重要文化財件数は全国第3位
- 4 住んでいる地域のことを学ぶ機会があると回答する児童生徒の割合の増加
- 5 いじめの認知件数は、積極的認知に向けた取組により認知件数が増加
- 6 奈良県立大学における少人数対話型教育の実践
- 7 県立医大の教育方針「良き医療人の育成プログラムの実践」

＜奈良県の抱えている弱み＞

- 8 学校の授業時間以外での勉強時間の二極化、家庭において自分で計画を立てて勉強している小・中学生の割合が低い、「自分にはよいところがあると思う」等、子どもの自己の意識・意欲が全国平均より低い
- 9 高校生の英語力が全国平均以下
- 10 若年無業者率や卒業後3年以内の離職率が高い
- 11 学校における教育用・校務用コンピュータの整備率が全国平均以下
- 12 県立学校施設の耐震化率は100%を達成しておらず、また、老朽化が進んでいる
- 13 大学進学時の県内進学率が低い
- 14 県内の訪問看護ステーションの平均従業員数が6人程度と小規模事業所が多く、経営基盤が脆弱

＜奈良県への追い風＞

- a 学習指導要領の改訂、グローバル化やIT化・技術革新の進展
- b 子ども・子育て支援制度の進展、「幼児教育を行う施設」としての定義づけなど保育所保育指針における幼児教育の積極的な位置づけ
- c 障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり等共生社会の進展
- d 県民は「子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと」「地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること」を望んでいる
- e 文部科学省「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」の推進
- f 医師のコミュニケーション能力の重要度の高まり
- g 看護師の役割の拡大

＜奈良県への向かい風＞

- h 人口減少・児童生徒数の減少
- i 南部東部地域の過疎化
- j 県外就業率が高い
- k 教員の年齢構成の二極化
- l 核家族化・単身世帯率の増加

＜強みで追い風を活かす課題＞

- [重要課題]奈良県教育振興大綱の実行(奈良県総合教育会議、奈良県教育サミットの開催)(1,2,3,4,5,a,b,c,d,e)
- [重要課題]奈良県立大学附属高等学校の設置(6,a)
- ・インクルーシブ教育の推進(2,b,c,d)
- ・「心の教育」を軸とした「良き医療人」の育成(7,f)

＜弱みを踏まえ追い風を活かす課題＞

- [重要課題]県立高等学校の教育環境の整備(9,11,12,a)
- [重要課題]就学前教育の推進(8,b,d)
- [重要課題]ICT教育環境の整備(8,11,a,e)
- ・グローバル教育の推進(9,a)
- ・看護師の質の向上(14,g)

＜強みで向かい風を克服する課題＞

- [重要課題]郷土教育の充実(3,4,i,j)
- ・学校・家庭・地域の連携・協働体制の一層の充実(1,2,h,i,k,l)
- ・へき地教育の充実(1,h,i)

＜弱みを踏まえ向かい風に備える課題＞

- [重要課題]実学教育の推進(10,i,j)
- ・子どもの学ぶ意欲の向上(8,9,h,i)
- ・教職員の資質・能力の向上(8,9,10,11,h,i,k)

4. これまでの評価や取組を踏まえた、強みや追い風を活かす課題の今後の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
奈良県教育振興大綱の実行(奈良県総合教育会議、奈良県教育サミットの開催)(テーマ(103)、(109)、(111))	第1期教育振興大綱で定めた各施策の目標について、毎年度その達成状況を点検・評価し、奈良県総合教育会議や奈良県教育サミットに報告を行ってきました。令和2年度は第1期の点検・評価等を踏まえた第2期奈良県教育振興大綱を策定し、新たに定めた目標を達成できるよう各施策を推進し次の取組に反映させるPDCAサイクルを実行します。
奈良県立大学附属高等学校の設置(テーマ(104))	高大連携教育により、地域及び国際社会で活躍するための基礎となる資質や能力を身に付けた人材を育成するため、奈良県立大学附属高等学校を令和4年4月に開校します。

弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
県立高等学校の教育環境の整備(テーマ(107))	令和2年度より、耐震化未了の県立高等学校5校の改築工事に着手し、令和4年度に完了します。また、令和3年3月までに「(仮称)奈良県立学校施設長寿命化整備計画」を策定し、計画に基づく長寿命化改修等の施設整備を推進します。
就学前教育の推進(テーマ(109))	平成31年2月に、本県の教育課題を踏まえ、子どもの発達段階やそれに応じた関わり方等をまとめ、奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」を作成しました。今後は、就学前教育や幼小接続に関する研修を実施するとともに、「はばたくなら」の実践事例集や普及啓発誌を作成し、その活用を促すことにより、就学前教育の人材確保及び質の向上に取り組めます。
ICT教育環境の整備(テーマ(111))	県立学校における校務支援システムを本格的に始動させるとともに、小・中学校においても各市町村教育委員会と連携し、奈良県域統合型校務支援システムを令和6年までに普及させます。また、GIGAスクール構想の実現に伴い、1人1台環境での教員の情報活用能力の向上を図るため、ICTを活用した教育を推進する指導的教員を育成するための研修を開催します。

強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
郷土教育の充実(テーマ(108))	小・中学校においては、郷土の自然や文化、人々との触れ合いなどを生かした学習事例集「郷土学習の手引」の活用を促進し、高等学校においては「奈良TIME」の取組や成果を発信することで、郷土教育の一層の充実を図ります。

5. これまでの評価や取組を踏まえた、弱みと向かい風を抱える課題の今後の取組方針

弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
実学教育の推進(テーマ(108))	「質の高い職業人」の育成のため、連携協定締結企業等と協働したカリキュラムを編成し、実践的な教育を実施するとともに、奈良県版デュアルシステムの推進を図ります。

VI 智恵の「都」をつくる

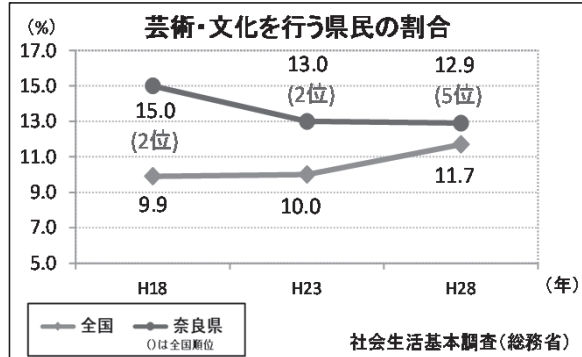
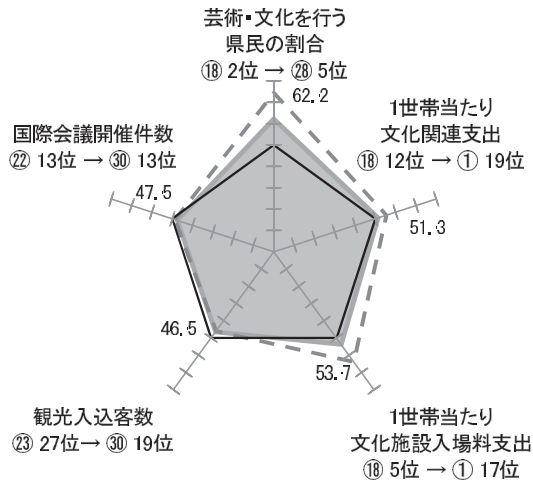
20. 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興

21. 海外との交流展開

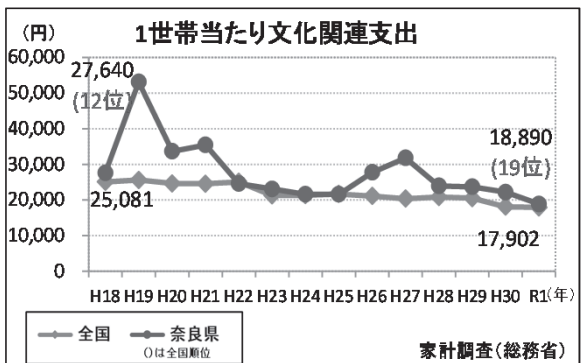
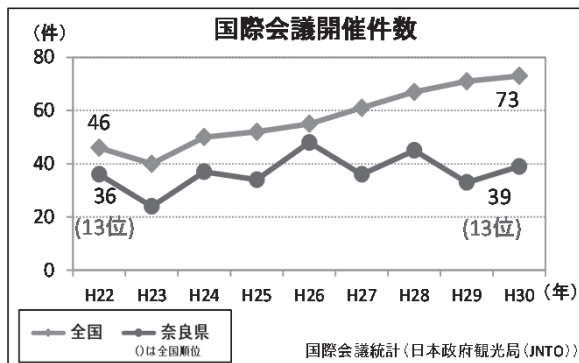
【担当部局】

知事公室、文化・教育・くらし創造部

1. 現状分析

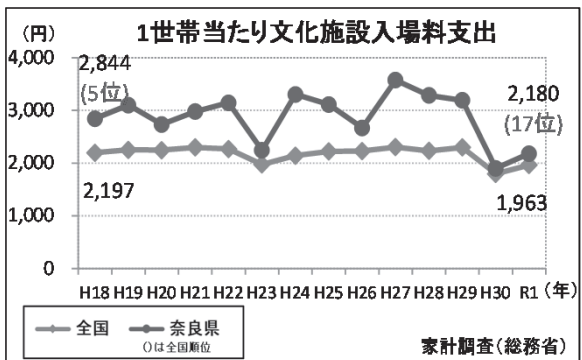
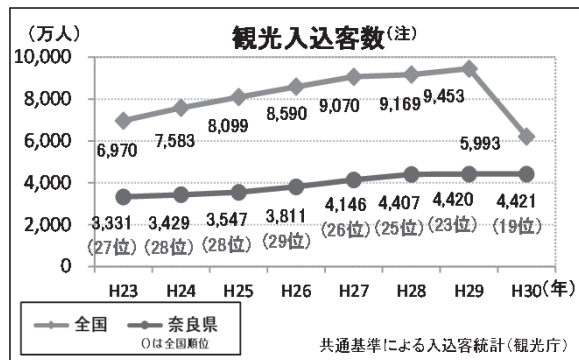


平成28年の芸術・文化を行う県民の割合は、平成18年と比較して2.1ポイント減少していますが、全国平均を上回っています。



平成30年の国際会議開催件数は、平成22年と比較して3件増加していますが、横ばい傾向が続いています。

令和元年の1世帯当たりの文化関連支出は、平成18年と比較して8,750円減少していますが、全国平均を上回っています。



平成30年の観光入込客数は4,421万人と横ばいで推移しましたが、全国平均が下がったため、全国順位が23位から19位へ上がりました。

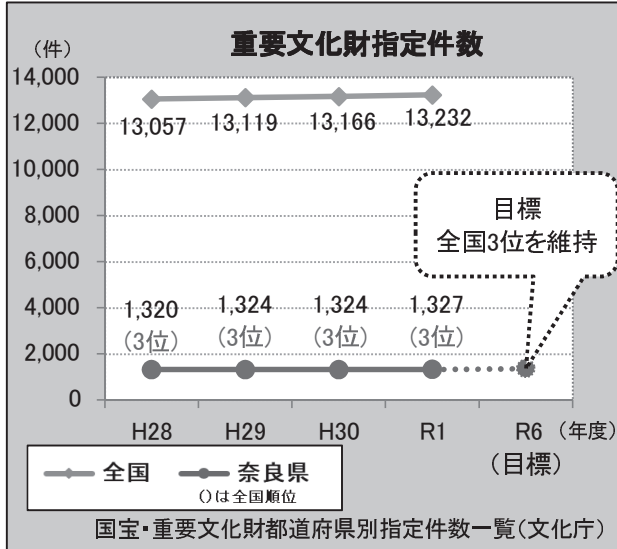
令和元年の1世帯当たり文化施設入場料支出は、平成18年と比較して664円減少していますが、全国平均を上回っています。

(注) 都道府県により公表時期が異なるため、年により公表されている都道府県数異なります。H23: 43都道府県 H24: 43都道府県 H25: 44都道府県 H26: 44都道府県 H27: 43都道府県 H28: 43都道府県 H29: 39都道府県 H30: 30都県 (令和2年3月時点)

2. 各テーマの「目指す姿」達成に向けた進捗状況

坊	20. 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興
テーマ	(112) 文化財の保存と活用
目指す姿	令和6年度に重要文化財指定件数全国3位を維持します。

CC(チーフコーディネーター)
(112) 文化・教育・くらし創造部 文化財保存課長 石原 昌伸



指標	重要文化財指定件数(件)				
	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
進捗状況	1,320 (3位)	↑	1,327 (3位)	全国3位を維持しました	全国3位を維持
	H28 (2016)	7 件	R1 (2019)	$\frac{3}{8}$ 年目	R6 (2024)
令和元年度も重要文化財指定件数は全国第3位を維持しました。引き続き、文化財建造物の修理工事現場の公開を行う等、文化財の保存と活用に一体的に取り組んでいきます。					

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
県指定文化財の指定件数 (件)	国指定重要文化財の候補となる県指定文化財の新規指定を推進した結果、平成31年度4月時点で557件となり、進捗率は37.5%となりました。	536	↑	557	37.5%	592
		H28 (2016)	21 件	R1 (2019)	$\frac{3}{8}$ 年目	R6 (2024)

主な取組指標の動き

文化財の保存修理の促進	なら歴史芸術文化村での活用に向けた文化財情報の収集及びコンテンツ制作	飛鳥京跡苑池の発掘調査
文化財保存事業費補助金予算 (百万円)	未指定仏像実態把握調査件数 [累計](件)	発掘調査延べ面積[累計](㎡)
344	10	11,054
↓	↑	↑
338	100	13,595
H28 (2016)	H28 (2016)	H28 (2016)
1.7 %	90 件	2,541 ㎡
R1 (2019)	R1 (2019)	R1 (2019)

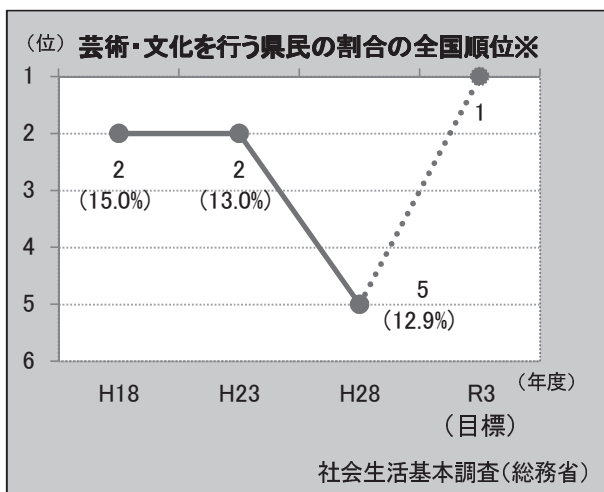
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

国が行う国指定重要文化財の指定に向けた調査・研究に随行し、国と所有者とのパイプ役として積極的に協力しました。

令和元年度に県指定文化財の候補となる文化財について、奈良県文化財保護審議会に諮問し、調査・研究を行い、答申を得て新たに7件の指定を行いました。

坊	20. 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興
テーマ	(113) 文化財防災対策の構築 (114) 文化振興条例の制定
目指す姿	令和3年度までに芸術・文化を行う県民の割合を全国1位にします。

CC(チーフコーディネーター)
(113),(114) 文化・教育・くらし創造部 文化財保存課長 石原 昌伸



指標	芸術・文化を行う県民の割合(%)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
進捗状況	15.0 (2位)	↘	12.9 (5位)	順位を3 下げました	全国 1位
	H18 (2006)	2.1 ポイント	H28 (2016)	10 15 年目	R3 (2021)

「ムジークフェストなら」等のイベント開催に精力的に取り組んだ結果、奈良県の芸術・文化を行う県民の割合は、全国でも上位となっています。引き続き、質の高いイベントを実施するとともに、芸術文化への参加・鑑賞の機会や活動の裾野を拡大します。

※は数値が低い方が良くなる指標です。

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
県民アンケートにおける「文化遺産や史跡が大事にされていること」の県民の満足度(ポイント)	歴史文化資源を幅広く活用したイベント開催等に取り組む、平成28年度より目標値を達成し続けています。	3.58	↘	3.57	102.0%(注)	3.5
		H28 (2016)	0.01 ポイント	R1 (2019)	3 5 年目	R3 (2021)
奈良県大芸術祭及び奈良県障害者大芸術祭のイベント数(催事)	新たにSNSでの情報発信等に取り組んだ結果、令和元年度の実績値は706催事となり、進捗率は76.6%となりました。	398	↗	706	76.6%	800
		H26 (2014)	308 催事	R1 (2019)	5 7 年目	R3 (2021)

(注)目標値に対する実績値の割合を記載しています。

主な取組指標の動き

「ムジークフェストなら」の開催		
「ムジークフェストなら」の来場者数(千人)		
38	↗	119
H24 (2012)	3.1 倍	R1 (2019)

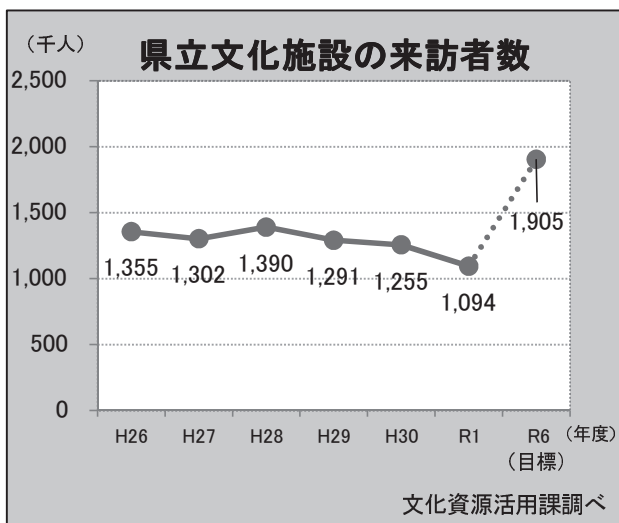
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

令和元年8月に「文化財防犯・防火・防災関係者連絡会議」を、同年11月に「文化財緊急防火対策強化会議」を開催し、文化財所有者、警察、消防等関係者間で、防火対策の先進事例の情報共有を行うなど、防災対策の機運醸成に繋がりました。

令和元年9月～11月に、「第32回国民文化祭・なら2017」「第17回全国障害者芸術・文化祭」の成果を継承した「奈良県大芸術祭」「奈良県障害者大芸術祭」を一体開催し、県内全域において700を超える事業が展開され、県内外から118万人が参加しました。

坊	20. 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興
テーマ	(115) 文化クラスター事業・日本博事業への参加
目指す姿	令和6年度までに県立文化施設の来訪者数を1,905千人にします。

CC(チーフコーディネーター)
(115) 文化・教育・くらし創造部次長 建石 徹



指標	県立文化施設の来訪者数(千人)				
	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	1,355	↘	1,094	▲47.5%	1,905
進捗状況	H26 (2014)	261 千人	R1 (2019)	5 10 年目	R6 (2024)
	令和元年度は日本博事業へ参画、万葉文化館にてにぎわいフェスタ等を開催しました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止による令和元年度2月末から令和2年度5月にかけての臨時休館の影響等により県立文化施設の来訪者数は減少しています。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
県民アンケートにおける「文化遺産や史跡が大事にされていること」の県民の満足度(ポイント)	文化クラスター事業によるシンポジウムの開催、日本博事業によるイベント開催に取り組み、目標値を達成し続けています。	3.58	↘	3.57	102.0%(注)	3.5
		H28 (2016)	0.01 ポイント	R1 (2019)	3 5 年目	R3 (2021)

(注)目標値に対する実績値の割合を記載しています。

主な取組指標の動き

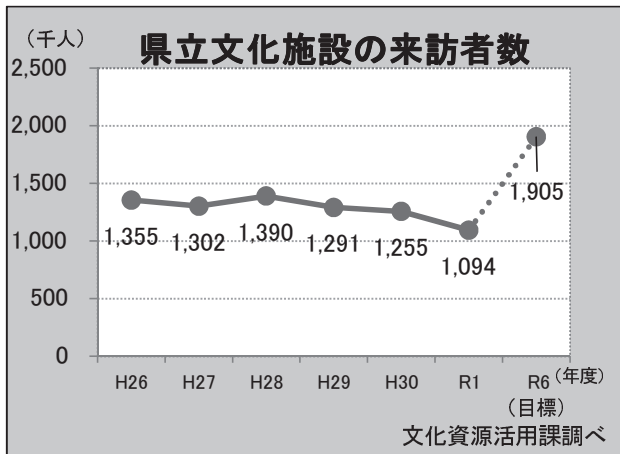
日本博事業への参画		
日本博事業でのイベント数(件)		
0	↗	5
H30 (2018)	5 件	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

文化クラスター事業・日本博事業の一環として、万葉文化館等の歴史文化資源を扱う県立文化施設で、奈良ゆかりの歴史文化を紹介するイベントや、県立文化施設への来訪のきっかけとなるような参加体験型イベント等を実施しました。

坊	20. 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興
テーマ	(116) 記紀万葉プロジェクトのこれから
目指す姿	令和6年度までに県立文化施設の来訪者数を1,905千人にします。

CC(チーフコーディネーター)
(116) 文化・教育・くらし創造部 文化資源活用課長 酒元 健司



県立文化施設の来訪者数(千人)					
指標	基準値	実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
	1,355	1,094	▲47.5%	1,905	
	H26 (2014)	261 千人	R1 (2019)	5/10 年目	R6 (2024)
進捗状況	元号改正や季節に応じたイベント等の開催に取り組みましたが、令和元年度の県立文化施設の来訪者は、新型コロナウイルスの感染拡大防止による臨時休館や、耐震・設備更新工事等による休館の影響等により減少しています。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値	実績値	進捗率 (傾向)	目標値
県民アンケートにおける「文化遺産や史跡が大事にされていること」の県民の満足度(ポイント)	記紀・万葉を中心とした歴史文化資源を活用する事業・イベントに幅広く取り組んでおり、目標値を達成し続けています。	3.58	3.57	102.0%(注)	3.5
県民アンケートにおいて、住みたい理由を「世界遺産や文化財等が多く、歴史的な雰囲気を感じるから」とする県民の割合(%)	県民の割合は微減したものの、令和元年度は「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界文化遺産登録に向けた取組を進め、世界文化遺産候補への推薦希望書を文化庁へ提出しました。	35.9	33.2	▲65.9%	40

(注) 目標値に対する実績値の割合を記載しています。

主な取組指標の動き

記紀・万葉プロジェクトの推進		
ホームページ「記紀万葉プロジェクト」のアクセス数(件)		
184,425	↗	244,708
H24 (2012)	32.7 %	R1 (2019)

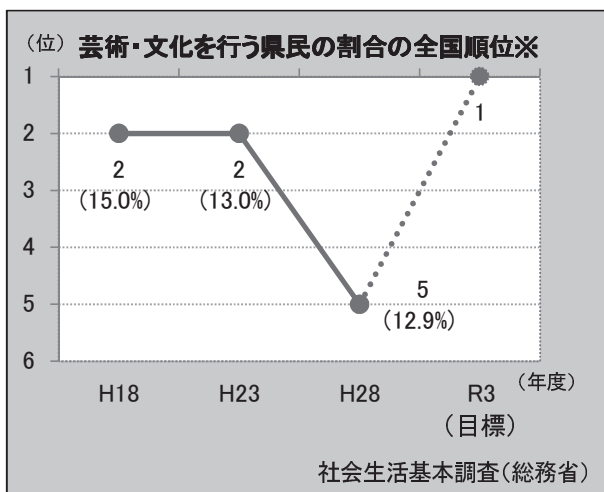
記紀・万葉プロジェクトの推進		
補助金を通じた推進への支援数(件)		
20	↘	16
H24 (2012)	20.0 %	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

記紀・万葉プロジェクトにおいて、奈良ゆかりの歴史文化を紹介することにより、万葉文化館をはじめ歴史文化資源を扱う県立文化施設への来訪のきっかけとなるようシンポジウムや参加体験型イベントに取り組みました。

坊	20. 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興
テーマ	(117) なら歴史芸術文化村の活用策の検討
目指す姿	令和3年度までに芸術・文化を行う県民の割合を全国1位にします。

CC(チーフコーディネーター)
(117) 文化・教育・くらし創造部理事 平田 千江子



指標	芸術・文化を行う県民の割合(%)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	15.0 (2位)		12.9 (5位)	順位を3 下げました	全国 1位
進捗状況	H18 (2006) 2.1 ポイント		H28 (2016)	10 15 年目	R3 (2021)
「ムジークフェストなら」等のイベント開催に精力的に取り組んだ結果、奈良県の芸術・文化を行う県民の割合は、全国でも上位となっています。引き続き、質の高いイベントを実施するとともに、芸術文化への参加・鑑賞の機会や活動の裾野を拡大します。					

※は数値が低い方が良くなる指標です。

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
県民アンケートにおける「文化遺産や史跡が大事にされていること」の県民の満足度(ポイント)	歴史文化資源を幅広く活用したイベント開催等に取り組み、平成28年度より目標値を達成し続けています。	3.58	↘	3.57	102.0%(注)	3.5
		H28 (2016) 0.01 ポイント		R1 (2019)	3 5 年目	R3 (2021)
県民アンケートにおける「この1年間に文化活動又は文化鑑賞を行った」の県民の割合(%)	「ムジークフェストなら」等のイベント開催に精力的に取り組んだ結果、令和元年度の実績値は54.1%となり、進捗率は85.0%で順調に推移しています。	49.0	↗	54.1	85.0%	55.0
		H28 (2016) 5.1 ポイント		R1 (2019)	3 5 年目	R3 (2021)

(注)目標値に対する実績値の割合を記載しています。

主な取組指標の動き

県立歴史関連施設を核とした施策の展開		
ホームページ「いかす・なら」のアクセス数(件)		
66,348	↗	234,111
H29 (2017)	3.5 倍	R1 (2019)

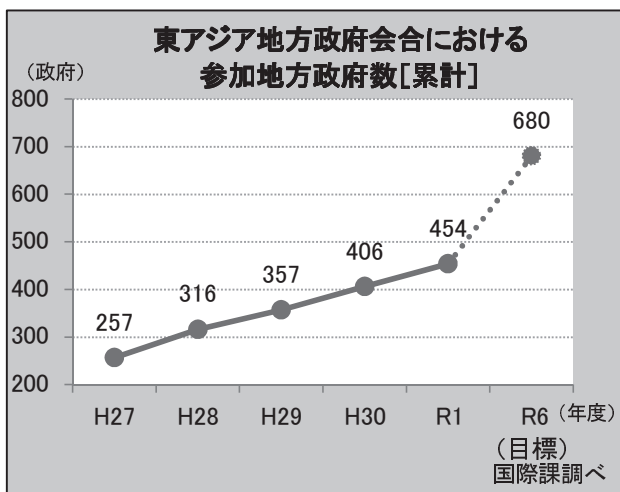
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

令和2年3月、なら歴史芸術文化村で展開するプログラム(アーティストとの交流、幼児向けアート体験等)を作成しました。

既に着手しているなら歴史芸術文化村の建設工事は、令和2年10月末の竣工に向けて進捗しています。

坊	21. 海外との交流展開
テーマ	(119) 東アジア地方政府会合の充実発展
目指す姿	令和6年度までに東アジア地方政府会合における参加地方政府数(累計)を680地方政府にします。

CC(チーフコーディネーター)
(119) 知事公室 国際課長 辻 祥子



指標	東アジア地方政府会合における参加地方政府数[累計](政府)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	257	↗	454	46.6%	680
進捗状況	H27 (2015)	197 政府	R1 (2019)	$\frac{4}{9}$ 年目	R6 (2024)
	令和元年11月に奈良県で開催した第10回東アジア地方政府会合に、5カ国40政府が参加し、参加地方政府数の累計は454となりました。基準値である平成27年度の257政府から197増加し、進捗率は46.6%となっています。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
東アジア地方政府会合の会員地方政府数(会員)	平成27年度末の7カ国68地方政府から、高山市(H29.3)、甲府市(H29.4)、葛城市(H30.6)、三宅町(H30.8)、田原本町(R2.3)の5地方政府が新規加入し、令和元年度末には7カ国73地方政府となっています。また、進捗率は62.5%となっています。	68	↗	73	62.5%	76
		H27 (2015)	5 会員	R1 (2019)	$\frac{4}{9}$ 年目	R6 (2024)

主な取組指標の動き

海外開催の推進		
海外開催の開催件数(全体会合及び分科会)[累計](件)		
0	↗	2
H27 (2015)	2 件	R1 (2019)

県内外へのさらなる情報発信		
県内高校生の会合運営補助への参加人数[累計](人)		
30	↗	89
H27 (2015)	59 人	R1 (2019)

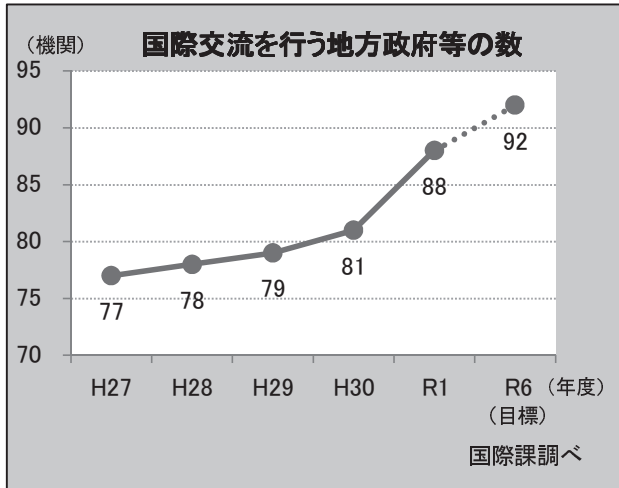
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

令和元年11月に第10回東アジア地方政府会合を奈良県で開催し、5カ国40地方政府が参加しました。「観光振興」、「地域で支える福祉・医療の充実」の2つのテーマについて活発な議論が交わされました。また、10周年記念プログラムとして、「特別講演」、「メモリアル上映」、「ゲストスピーチ」を実施しました。

第11回東アジア地方政府会合をインドネシア共和国・西ジャワ州が2020年11月に同州バンドン市にて開催することを発表し、奈良県知事と同州知事が開催に向けて共に連携・協力して取り組むための合意覚書を締結しました。

坊	21. 海外との交流展開
テーマ	(120) 既交流団体との交流強化、新たな交流団体との提携
目指す姿	令和6年度までに国際交流を行う地方政府等の数を92機関にします。

CC(チーフコーディネーター)
(120) 知事公室 国際課長 辻 祥子



指標	国際交流を行う地方政府等の数(機関)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	77	↗	88	73.3%	92
進捗状況	H27 (2015)	11 機関	R1 (2019)	$\frac{4}{9}$ 年目	R6 (2024)
	令和元年8月の中国清華大学との覚書締結や東アジア地方政府会合会員への地方政府等の新規加入により、国際交流を行う地方政府等の数は、平成30年度から7増え、令和元年度には88機関となりました。基準値である平成27年度の77機関からは11増加し、進捗率は73.3%となっています。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
東アジア地方政府会合における参加地方政府数[累計](政府)	令和元年11月に奈良県で開催した第10回東アジア地方政府会合に、5カ国40政府が参加し、参加地方政府数の累計は454となりました。基準値の平成27年度の257政府から197増加し、進捗率は46.6%となっています。	257	↗	454	46.6%	680
		H27 (2015)	197 政府	R1 (2019)	$\frac{4}{9}$ 年目	R6 (2024)

主な取組指標の動き

スイスの制度を参考にした新たな森林環境管理制度の構築		
林業分野における技術講習等への派遣人数[累計](人)		
17	↗	60
H28 (2016)	43 人	R1 (2019)

中国陝西省等友好提携先との交流		
次世代養成事業における青年派遣人数[累計](人)		
20	↗	101
H25 (2013)	81 人	R1 (2019)

中国陝西省等友好提携先との交流		
海外との青少年スポーツ交流人数[累計](人)		
17	↗	51
H29 (2017)	34 人	R1 (2019)

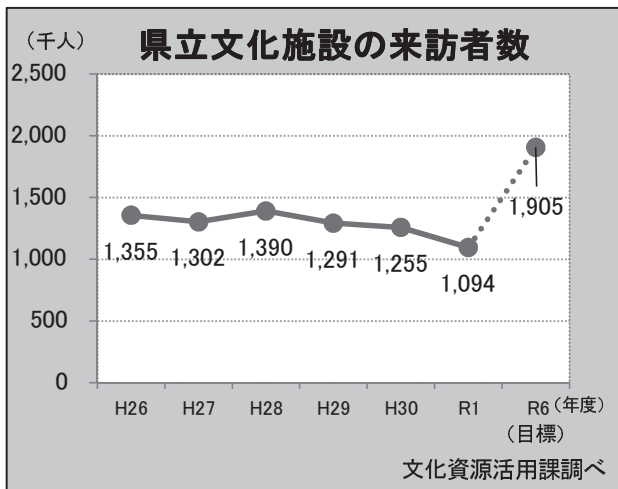
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

中国清華大学と、令和元年8月に学術研究、教育の推進、文化、芸術、産業の振興及び人材の育成を交流分野として、覚書を締結しました。さらに、9月に大学関係者が来県された際には、今後の交流の展開に関する覚書を締結するとともに、県内の学術、産業分野関係者等との意見交換や交流を行いました。

BCC(バスカリナーセンター)への知事訪問及びBCC担当者の県への招へいにより、NAFIC(奈良県立なら食と農の魅力創造国際大学校)とBCCの連携による今後の交流事業について意見交換を行いました。

坊	21. 海外との交流展開
テーマ	(121) 奈良の仏像、文化財の海外展示のこれから
目指す姿	令和6年度までに県立文化施設の来訪者数を1,905千人にします。

CC(チーフコーディネーター)
(121) 文化・教育・くらし創造部次長 建石 徹



県立文化施設の来訪者数(千人)					
指標	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	1,355	↘	1,094	▲47.5%	1,905
	H26 (2014)	261 千人	R1 (2019)	$\frac{5}{10}$ 年目	R6 (2024)
進捗状況	奈良の歴史・文化に対する国際的認知度向上のため、平成30年度に続き、イギリス・大英博物館で「奈良－日本の信仰と美のはじまり」展を開催し、公開日数53日間で延べ約16万人の入場者に観覧いただきました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止による臨時休館の影響等により県立文化施設の来訪者数は減少しています。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
外国人旅行者数(万人)	海外向け情報発信や受入環境の整備等により、令和元年の外国人旅行者数は350万人となり、平成27年から247万人増加しました。	103	↗	350	71.2%	450
		H27 (2015)	247 万人	R1 (2019)	$\frac{4}{9}$ 年目	R6 (2024)

主な取組指標の動き

奈良の仏像等海外展示の検討		
外国人宿泊者数[累計](万人)		
26	↗	54
H27 (2015)	28 万人	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

平成31年1月～3月にフランス・キメ東洋美術館、令和元年10月にイギリス・大英博物館にて海外仏像展を開催しました。類いまれなる文化資源である県内の仏像等をヨーロッパの著名な美術館や博物館で展示し、奈良の歴史文化資源の魅力を海外に発信しました。

坊	20. 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興	
テーマ	(118) 研究勉強活動の充実強化	
CC(チーフコーディネーター)	-	
目 指 す 姿	<p>今後も、様々な分野における新たな取組の実施等に向けた研究会や勉強会を設置・運営し、その成果を県政の発展に活かします。</p>	<p>進 捗 状 況</p> <p>【なら歴史芸術文化村構想等検討委員会】 芸術文化の振興、文化財の保存及び活用等に関し優れた識見を有する者で構成された委員会において、施設の基本構想、基本計画策定に寄与しました。更に、開村後の取組展開や運営体制等についても検討しました。 今後も引き続き検討委員会において議論を行っていきませんが、「なら歴史芸術文化村コミッション」を新たに設置し、施設活用策の検討を体系的に進めます。</p> <p>【奈良県更生支援のあり方検討会】 当検討委員会における出所者の就労の場づくりや、「奈良県更生支援の推進に関する条例」に関する専門家の意見をもとに、令和2年2月定例県議会へ条例案と出所者の就労の場づくりを行う一般財団法人の設立・運営にかかる予算を上程しました。 今後も引き続き、専門家の意見をいただき、県の更生支援施策の推進及び一般財団法人の運営について検討していきます。</p> <p>【奈良県税制調査会】 森林環境税、法人県民税特例制度について、課税期間が令和2年度で終了するため、奈良県税制調査会の答申に向けて、当調査会において必要な検討を開始しました。</p> <p>【奈良県総合教育会議】 年3回の会議を実施し、第1期奈良県教育振興大綱に関する評価・分析、第2期奈良県教育振興大綱の策定に向けた検討を行い、一定の方向性を決定しました。 今後、第2期奈良県教育振興大綱の策定に向け、同大綱の内容を充実させていくことを目的に、教育関係の有識者等との勉強会を開催するとともに、当会議においても議論を重ねます。</p>

3. 次年度に向けた課題の明確化

20. 文化財の保存・活用、 文化財の防災、 文化の振興 21. 海外との交流展開

- (112)文化財の保存と活用
- (113)文化財防災対策の構築
- (114)文化振興条例の制定
- (115)文化クラスター事業・日本博事業への参加
- (116)紀記万葉プロジェクトのこれから
- (117)なら歴史芸術文化村の活用策の検討
- (118)研究勉強活動の充実強化
- (119)東アジア地方政府会合の充実発展
- (120)既交流団体との交流強化、新たな交流団体との提携
- (121)奈良の仏像、文化財の海外展示のこれから

<奈良県の持っている強み>

- 1 「芸術・文化」を行う県民の割合が12.9%で、全国で5位であり、文化芸術活動に関する家計支出額が全国的に見て高い分野が多い
- 2 人口100万人当たりの博物館数が全国12位
- 3 3つの世界遺産をはじめとして文化遺産が豊富
- 4 令和元年11月1日現在、国指定重要文化財の指定件数は全国3位、特に国宝の内彫刻は全国136件中奈良県74件(54%)、同じく建造物は227件中64件(28%)と全国1位の件数
- 5 東アジア地方政府会合を契機とした東アジア諸国との深いつながり
- 6 中国、韓国、中央アジア等との古代からの国際交流
- 7 中国陝西省、韓国忠清南道、スイスベルン州、ベトナムフター省との友好提携等

<奈良県の抱えている弱み>

- 8 多くの観客を収容できる施設が少なく、トップアーティストの招聘が困難
- 9 文化活動発表の場が少なく、アーティストは県外に活動拠点を求める傾向
- 10 県立の文化施設が老朽化

<奈良県への追い風>

- a 2021年東京オリンピック・パラリンピック、2021年ワールドマスターズゲームズ開催、2025年大阪・関西万博といった大きな国際イベントの開催
- b 奈良県文化振興大綱の策定
- c 「国民文化祭」「全国障害者芸術・文化祭」の成果の継承
- d 文化財を次世代に確実に継承する機運醸成
- e 第11回東アジア地方政府会合のインドネシア・西ジャワ州開催
- f 中国陝西省、韓国忠清南道との友好提携10周年
- g 2022年は日本と中央アジアとの外交樹立30年

<奈良県への向かい風>

- h 著名なアーティストや作品は大都市での公演、展示に集中する傾向
- i 過疎化・少子高齢化等の社会状況の変化を背景に各地域の貴重な文化財の滅失・散逸等の防止が緊急の課題

<強みで追い風を活かす課題>

- [重要課題]文化における国際交流や国際貢献の推進(3,4,a)
- [重要課題]なら歴史芸術文化村の活用策の検討(1,2,3,4,b,d)
- [重要課題]東アジア地方政府会合の推進及び東アジア地方政府とのネットワーク強化、既交流団体との新たな分野での交流及び新たな団体との交流(5,6,7,a,e,f,g)
- ・本県の強みである歴史文化資源活用分野と芸術文化振興分野に力点を置いた施策の推進(1,2,3,4,a,b,c)
- ・文化財の防火対策の構築(4,d)

<弱みを踏まえ追い風を活かす課題>

- ・文化芸術団体や個人が行う発表の場の拡充(9,10,c)

<強みで向かい風を克服する課題>

- [重要課題]奈良だからこそできる音楽祭の開催(1,4,h)
- ・文化芸術団体への支援の拡充・強化(1,h)
- ・文化財の保存と活用の基本的な方向性を明確化し、県内の各種の取組を進めていく上での共通の基盤となる奈良県文化財保存活用大綱の策定(4,i)

<弱みを踏まえ向かい風に備える課題>

- [重要課題]県立文化施設の整備・改修等(8,10,h)

4. これまでの評価や取組を踏まえた、強みや追い風を活かす課題の今後の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
文化における国際交流や国際貢献の推進(テーマ(121))	これまで、フランス・ギメ東洋美術館やイギリス・大英博物館で奈良の仏像展示を行い、奈良の歴史文化資源の魅力を世界に向けて発信してきました。今後も、県内の仏像等の文化資源を海外の著名な美術館や博物館に展示することで、日本への誘客につなげられるよう、検討を行います。
なら歴史芸術文化村の活用策の検討(テーマ(117))	なら歴史芸術文化村の整備を進め、全国でも先駆的な歴史芸術文化活動の拠点とするため、活用策を精査・検討します。
東アジア地方政府会合の推進及び東アジア地方政府とのネットワーク強化、既交流団体との新たな分野での交流及び新たな団体との交流(テーマ(119),(120))	インドネシア共和国西ジャワ州バンドン市での第11回会合の開催に引き続き、今後も海外での開催を推進します。国際関係機関や大学の会合への参加を進め、会合の意義に賛同する地方政府、関係機関等に会員への加入を促します。また、県内各地での会合紹介パネル展の実施など県内外へのさらなる情報発信に努めます。2021年の中国陝西省、韓国忠清南道との友好提携締結10周年を契機とした新たな交流の展開に取り組みます。また、ウズベキスタン・サマルカンド州等との友好提携締結に向けた協議、交流分野・事業の検討を進めます。

弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
文化芸術団体や個人が行う発表の場の拡充(テーマ(114))	「ムジークフェストなら」における民間団体主催公演の実施や、「奈良県大芸術祭」「奈良県障害者大芸術祭」、「奈良県美術展覧会」の開催など、文化芸術団体や個人が自発的・主体的に活動する機会を引き続き創出します。

強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
奈良だからこそできる音楽祭の開催(テーマ(114))	「ムジークフェストなら」では、世界遺産をはじめとする社寺等と連携した奈良ならではのコンサートや、幅広い世代が楽しめる公演の実施により、文化芸術活動の活性化や誘客を促進するとともに、中南部東部における公演をさらに充実し、「ムジークフェストなら」のさらなる周知度の向上を図ります。

5. これまでの評価や取組を踏まえた、弱みと向かい風を抱える課題の今後の取組方針

弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
県立文化施設の整備・改修等(テーマ(114))	文化会館と美術館は、一体整備を行う予定でしたが、文化財発掘調査の影響を受けない文化会館を、令和5年度の着工に向けて先行してリニューアル整備します。美術館のリニューアルについても、今後の文化財発掘調査結果を踏まえて検討します。